

# 特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
20	医療費助成に関する事務 基礎項目評価書

## 個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

矢板市は、医療費助成に関する事務における特定個人情報ファイルを取扱うにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを理解し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

## 評価実施機関名

栃木県矢板市長

## 公表日

令和8年2月20日

# I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務	
①事務の名称	医療費助成に関する事務
②事務の概要	<p>「矢板市重度心身障害者医療費助成に関する条例」、「矢板市ひとり親家庭医療費助成に関する条例」、「矢板市妊産婦医療費助成に関する条例」及び「矢板市子ども医療費助成に関する条例」に基づき医療給付事務等を行う。</p> <p>特定個人情報ファイルは、次の事務に使用する。</p> <p>① 受給資格者証の交付申請の受理、審査、認定、交付事務            ② 氏名・住所・加入健康保険情報・振込口座情報・送付先住所変更届の受理及び当該情報入力事務            ③ 申請の受理、審査、助成内容入力、助成決定及び支給決定通知書兼支払通知書送付事務            ④ 診療報酬審査支払事務機関からの請求の受理、審査、助成決定及び当該情報作成事務</p> <p>「矢板市重度心身障害者医療費助成に関する条例」、「矢板市ひとり親家庭医療費助成に関する条例」、「矢板市妊産婦医療費助成に関する条例」及び「矢板市子ども医療費助成に関する条例」に基づき医療給付事務等を行う。</p> <p>特定個人情報ファイルは、次の事務に使用する。</p> <p>① 受給資格者証の交付申請の受理、審査、認定、交付事務            ② 氏名・住所・加入健康保険情報・振込口座情報・送付先住所変更届の受理及び当該情報入力事務            ③ 申請の受理、審査、助成内容入力、助成決定及び支給決定通知書兼支払通知書送付事務            ④ 診療報酬審査支払事務機関からの請求の受理、審査、助成決定及び当該情報作成事務</p> <p>&lt;Public Medical Hub (PMH) を活用した情報連携に係る医療費助成に関する事務&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報連携のため、本市区町村は、Public Medical Hub (PMH) へ本事務に係る対象者の個人番号を含む対象者情報、公費資格情報の紐付け及び登録を行う。</li> <li>・住民は、マイナポータルを介して、自身の本事務に係る公費医療費助成の資格情報の取得/閲覧が可能となる。</li> <li>・住民が、医療機関受診時に公費医療費助成の給付を受ける際に、従来の紙の受給者資格者証に代えて、マイナンバーカードをオンライン資格確認端末で用いることにより、資格情報を医療機関が取得/閲覧することが可能となる。</li> </ul>
③システムの名称	医療費助成システム 統合宛名システム 中間サーバー Public Medical Hub (PMH)
2. 特定個人情報ファイル名	
医療費給付情報ファイル 宛名情報ファイル	

3. 個人番号の利用	
法令上の根拠	番号法第9条第2項、 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例第4条
4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携	
①実施の有無	[ 実施する ] <span style="float: right;">&lt;選択肢&gt; 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定</span>
②法令上の根拠	(情報照会の根拠) 番号法第19条第9号、 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例第4条  (情報提供の根拠) なし ※情報提供ネットワークシステムによる情報提供は行わない
5. 評価実施機関における担当部署	
①部署	社会福祉課、こども課
②所属長の役職名	社会福祉課長、こども課長
6. 他の評価実施機関	
7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	矢板市総務人事課行政担当
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	矢板市総務人事課行政担当 0287-43-1111
9. 規則第9条第2項の適用 <span style="float: right;">[ ]適用した</span>	
適用した理由	

## II しきい値判断項目

1. 対象人数		
評価対象の事務の対象人数は何人か	[ 1,000人以上1万人未満 ]	<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	令和8年1月1日 時点	
2. 取扱者数		
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[ 500人未満 ]	<選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	令和8年1月1日 時点	
3. 重大事故		
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[ 発生なし ]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

## III しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価の実施が義務付けられる

## IV リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
[ 基礎項目評価書 ]		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書  2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要なのない情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託 [ ]委託しない		
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) [ ]提供・移転しない		
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続 [ ]接続しない(入手) [ O ]接続しない(提供)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か	[ ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
7. 特定個人情報の保管・消去		
特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
8. 人手を介在させる作業 [ ]人手を介在させる作業はない		
人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	「マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係る横断的なガイドライン」(令和5年12月18日デジタル庁)の申請時のマイナンバー取得の原則化について、本人確認の手段、住基ネット照会について、住基ネット照会において複数の者が該当した際の本人を特定する方法等の留意事項等を遵守している。	
9. 監査		
実施の有無	[ O ] 自己点検	[ O ] 内部監査 [ ] 外部監査

10. 従業者に対する教育・啓発	
従業者に対する教育・啓発	<p>[ 十分にしている ]</p> <p>&lt;選択肢&gt;  1) 特に力を入れて行っている  2) 十分にしている  3) 十分にしていない</p>
11. 最も優先度が高いと考えられる対策 [ ]全項目評価又は重点項目評価を実施する	
最も優先度が高いと考えられる対策	<p>[ 9) 従業者に対する教育・啓発 ]</p> <p>&lt;選択肢&gt;  1) 目的外の入手が行われるリスクへの対策  2) 目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策  3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策  4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策  5) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。)  6) 情報提供ネットワークシステムを通じて目的外の入手が行われるリスクへの対策  7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策  8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策  9) 従業者に対する教育・啓発</p>
当該対策は十分か【再掲】	<p>[ 十分である ]</p> <p>&lt;選択肢&gt;  1) 特に力を入れている  2) 十分である  3) 課題が残されている</p>
判断の根拠	<p>保護管理者(保護責任者に相当)への研修、事務取扱者への研修(サイバーセキュリティの確保に関する事項を含む)、特定個人情報を取り扱う情報システムの管理に関する事務に従事する職員への研修等の教育研修を行い、また未受講者に対するフォローアップを実施している。</p>

## 変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成27年9月30日	I-3法令上の根拠	利用までに制定する条例に規定する	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	事後	
平成27年9月30日	I-4-①実施の有無	未定	実施する	事後	
平成27年9月30日	I-4-②法令上の根拠	-	番号法第19条第14号、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第十九条第七号に準ずるものとして同条第十四号に規定する特定個人情報の提供の制限の特例を定める規則	事後	
平成31年2月4日	新様式への変更			事後	
平成31年2月4日	I-1-③システムの名称	医療費助成システム	医療費助成システム 統合宛名システム 中間サーバー	事後	
平成31年2月4日	I-3法令上の根拠	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	番号法第9条第2項、 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例第4条	事後	
平成31年2月4日	I-4-②法令上の根拠	番号法第19条第14号、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第十九条第七号に準ずるものとして同条第十四号に規定する特定個人情報の提供の制限の特例を定める規則	(情報照会の根拠) 番号法第19条第8号、 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例第4条  (情報提供の根拠) なし ※情報提供ネットワークシステムによる情報提供は行わない	事後	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和4年3月3日	I-4-②法令上の根拠	<p>(情報照会の根拠)            番号法第19条第8号、            行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例第4条</p> <p>(情報提供の根拠)            なし            ※情報提供ネットワークシステムによる情報提供は行わない</p>	<p>(情報照会の根拠)            番号法第19条第9号、            行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例第4条</p> <p>(情報提供の根拠)            なし            ※情報提供ネットワークシステムによる情報提供は行わない</p>	事後	
令和6年12月10日	新様式への変更			事後	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和8年2月20日	I-1-②事務の概要	<p>「矢板市重度心身障害者医療費助成に関する条例」、「矢板市ひとり親家庭医療費助成に関する条例」、「矢板市妊産婦医療費助成に関する条例」及び「矢板市子ども医療費助成に関する条例」に基づき医療給付事務等を行う。特定個人情報ファイルは、次の事務に使用する。</p> <p>①医療費助成事務</p>	<p>「矢板市重度心身障害者医療費助成に関する条例」、「矢板市ひとり親家庭医療費助成に関する条例」、「矢板市妊産婦医療費助成に関する条例」及び「矢板市子ども医療費助成に関する条例」に基づき医療給付事務等を行う。特定個人情報ファイルは、次の事務に使用する。</p> <p>① 受給資格者証の交付申請の受理、審査、認定、交付事務  ② 氏名・住所・加入健康保険情報・振込口座情報・送付先住所変更届の受理及び当該情報入力事務  ③ 申請の受理、審査、助成内容入力、助成決定及び支給決定通知書兼支払通知書送付事務  ④ 診療報酬審査支払事務機関からの請求の受理、審査、助成決定及び当該情報作成事務</p> <p>&lt;Public Medical Hub (PMH) を活用した情報連携に係る医療費助成に関する事務&gt;  ・情報連携のため、本市区町村は、Public Medical Hub (PMH) へ本事務に係る対象者の個人番号を含む対象者情報、公費資格情報の紐付け及び登録を行う。  ・住民は、マイナポータルを介して、自身の本事務に係る公費医療費助成の資格情報の取得/閲覧が可能となる。  ・住民が、医療機関受診時に公費医療費助成の給付を受ける際に、従来の紙の受給者資格者証に代えて、マイナンバーカードをオンライン資格確認端末で用いることにより、資格情報を医療機関が取得/閲覧することが可能となる。</p>	事後	
令和8年2月20日	I-1-③システムの名称	<p>医療費助成システム  統合宛名システム  中間サーバー</p>	<p>医療費助成システム  統合宛名システム  中間サーバー  Public Medical Hub (PMH)</p>	事後	